



奥左から、木下会長、高橋副会長、島崎事務局長、手前左から瀧町長、前真保早来雪だるま郵便局長

雪ダルマを通して交流を

ブラジル北海道協会の木下利雄会長と高橋昭副会長が9月4日、安平町に立ち寄り町長を表敬訪問。木下会長は今年2月にサンパウロ市で開催され、大盛況だった雪ダルマプロジェクトへのお礼と来年開かれる北海道ブラジル移民90周年、北海道協会設立70周年、北海道会館建設10周年の記念式典への参加をPRしました。

また2009年の札幌雪まつりに合わせて日系ブラジル人の青年グループが来る予定です。今後も「雪ダルマを通して安平町の人たちとの交流を深めていきたい」と話していました。



地域で長年にわたる活動に対して叙勲

9月1日 追分庁舎で眞保サダさん(追分本町)に瑞宝単光章の伝達式が行われました。

眞保さんは、民生児童委員や保護司など社会福祉の推進や青少年の健全育成に尽力され、北海道知事表彰(昭和59年、北海道社会貢献賞)、厚生大臣表彰(同63年、民生委員児童委員功労)、全国保護司会連盟会長表彰(平成8年、永年勤続功労)、

法務大臣表彰(同9年、保護司功労)、安平町長表彰(同19年、町政功労)など多くの表彰を受けています。

今回の叙勲受章に当たり、眞保さんから「いろいろな方の協力を得ながら今まで続けてきました。これからも健康なうちは地域のために働き続けていきたい」とコメントをいただきました。

安平町の事例を発表

9月19日に札幌市共済ホールで「2008交通安全道民総決起大会」が開催され、安平町交通安全推進委員会の木越武治さんが町の取り組み事例を発表しました。



安平町の取り組みの事例を話す木越さん

講習会の実施などをはじめ、町内の団体や行政との連携を深めながら交通事故の撲滅を目指していることを紹介しました。

なお、9月には、高齢者向けの講習会の実施や幼稚園児の安全運転の呼びかけ運動などが行われています。



高齢者向けの交通安全講習会(9/26、ぬくもりセンター)

山木勉さんに道社会貢献賞

昭和61年から民生児童委員として地域福祉に尽くされた山木勉さん(追分弥生)が北海道社会貢献賞を受賞。9月19日に追分庁舎で伝達式が行われ、町長から賞状と記念品が渡されました。



山木さんは中学生の時に親を亡くし、周りの人たちにお世話になったと言います。「お世話になった地域の方に少しでも役立ちたいという気持ちで今日まで続けてきました」とコメント。伝達式翌日の9月20日で71歳になる山木さんは「70歳最後の日に栄えある賞を受けて大変光栄です」と笑顔で喜びを表していました。